

区民の提案を契機に大岡川の両岸が歩行者空間として、また区民の憩いの場として整備され、橋ごとに地区のシンボル樹が植えられ、照明灯はぼんぼりにして日本的雰囲気演出し、川に対する関心が高められた。



横浜市は、わが国を代表する国際貿易港都であり、また、首都圏最大の業務核都市でもある。

「大岡川プロムナード」は、区民からの提案を契機に、市内南区を流れる大岡川の両岸を潤いのある歩行者空間

として、また区民の憩いの場として整備したものである。

川沿いには、従来からのサクラや樹木をできるだけ残しつつも、サクラ並木を復活させるべくソメイヨシノを基調樹として植樹し、また橋ごとにそれぞれの地区の個性を出すため、シンボル樹を植えている。

さらに、照明灯は、サクラ並木と調和するようぼんぼりの形として日本的雰囲気を演出させるとともに、舗装も歩行者の安全性、管理のしやすさ、周辺との調和等を考慮してレンガを採用している。

このプロムナードの完成により、区民の川に対する関心も一層高まった。

## データボード⑪

- ① 神奈川県横浜市南区
- ② 横浜市南区役所 ☎ 045-742-1212
- ③ 延長約3km(片側)、幅員平均約2m
- ④ 小舗石、多孔式レンガ、普通堅焼レンガ
- ⑤ 手摺を使っのてのプロムナードギャラリー

